由利本荘市立由利中学校 校報　　「チーム由利中　心ひとつに」

根堀台だより

平成27年7月1日
第 27 号

校 訓「 進 歩（文 ）」「 健 康（武 ）」「 協 力（道 ）」

頑張った由利中 １５の夏輝く

野　球	６月２８日（日） １回戦　対 金　浦　０：７	
バレーボール 第３位 県大会へ	６月２７日（土） 予選１　対 象　潟　２：１ 予選２　対 矢　島　２：０	６月２８日（日） 準決勝　対　岩　城　１：２ ３決２　対　大　内　２：０ ３決３　対　象　潟　２：０
サッカー	６月２７日（土） １回戦　対 仁賀保　１：０ ２回戦　対 本荘北　０：３	６月２８日（日） 敗復２　対　仁賀保　１：３
ソフトボール	６月２８日（日） １回戦　対 本荘東　３：４ 敗復１　対 金　浦　４：５	
ソフトテニス	６月２８日（日） 予選リーグ　対 仁賀保０：３ 対 本荘北１：２	６月２９日（月） 個人戦　１・２・３回戦敗退
剣　道	６月２７日（土） 個人戦　１・２回戦敗退	

６月２７日・２８日の２日間予定されていた本荘由利総合体育大会ですが、雨天ということもあり順延となった競技もありましたが、無事全日程を終えることができました。

本校の結果は上記の通りですが、どの部活動でも３年生の「最後の夏」にふさわしい戦いぶりが見られたようです。大会明けの７月１日（月）の朝、登校してくる子どもたちの様子を見ていると、どの子どもにも「やりきった感」がありました。勿論勝負に結果はつきものですから、悔しさは絶対に感じているはずです。この経験を一人一人がどう生かしていくかが大切なのだと思います。

吹奏楽やバレー部は、まだ勝負が残っています。しかし、３年生のほとんどがこれから本格的に受験に向かうことになります。また、１・２年生は３年生からバトンを渡され、その責任は一段と重くなっていきます。部活動という経験を通して、どんなことを身に付け、それをこれからの生活にどういかしていくか・・・「新たな勝負」が始まります。頑張ってほしいものです。

由利地域敬老会
生徒発表頑張りました

６月２５日（木）の午後、「由利本荘市由利地域敬老会」が由利体育館で行われました。本校からは代表として３年生の〇〇〇〇さんが作文を発表しました。心のこもった発表に沢山の方々が感動し、賞賛の拍手をおくって頂きました。

また、毎年生徒たちが地域のお年寄りの皆さんに向けて、「メッセージ」を書き、それが当日配布される資料にも掲載されています。子どもたちにとっても、普段なかなか言えない「ありがとう」の気持ちを伝える好機となっています。

由利地域のよさが伝わる素晴らしい行事のひとつです。

日々の感謝

由利中学校　三年　〇〇〇〇

私には六十六歳の祖父と六十五歳の祖母がいます。二人とも、帰宅する私を温かく迎えてくれたり、雨の降る日は学校の送り迎えをしてくれたりします。おいしそうなご飯のにおいで私を幸せな気持ちにしてくれます。そんな二人に、私は嫌なことがあったり疲れたときなど、話しかけられたのに無視したり、反抗的な態度をとってしまうことがあります。悪いと思っても、すぐに謝ることができない私に、次の日、何事もなかったかのように、普段どおり優しくしてくれたり、困りごとを真剣に聞いてくれたりします。そんなごく普通の毎日は、照れくさくて言葉にできてないけれど「ありがとう」の気持ちでいっぱいです。

祖父は祖母と一緒に米作りをしています。よい米を作るために心をこめて農作業をしています。今年は、体の痛さと戦いながら、いつもの年と同じようにおいしいお米が育つよう田植え作業を行っていました。今はその稲がすくすくと育つよう、除草をしたり見回りをしたりと忙しくしています。そんな祖父を見ながら、今年もおいしいお米が食べられる幸せを予感しています。

祖母は花を育てることが好きです。新しい花が育つと、いつも私に見せてくれます。丹精こめて育てた花が咲く喜びは祖母だけでなく、私にも感じられるようになりました。私も将来、花や野菜を育てたいと思っています。また、料理のコツや味付けのポイントを教えてくれることもあります。私が大人になったとき、祖母のようにおいしくて幸せな気持ちになれる料理を作れるように、一緒に台所に立ちながら、たくさんのコツを聞いておきたいです。

二人とも、自分のことは二の次で、家のことや私の世話をしてくれます。けれど、そんな日々のあれこれを当たり前に思わず、感謝の気持ちを表しながら生活していきたいです。だんだん高齢になる祖父母ですが、長生きしてもらいたいです。

そして、私の恩返しを楽しみにしてほしいです。